



## ごあいさつ

本日は関西シティフィルハーモニー交響楽団第73回定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。団員一同を代表し御礼申し上げます。

今回の演奏会はロッシェニの序曲、ブルッフのヴァイオリン協奏曲、ラフマニノフの交響曲第3番の構成でお届けします。曲の解説は後述に譲りますが、ブルッフのコンチェルトは約10年にわたり当団のコンサートマスターをお願いし、この演奏会をもって退団される石井さんのヴァイオリン独奏でお届けします。今までもコンサートマスターとして素敵な演奏を聴かせていただきましたが、今回はソリストとしての魅力たっぷりの演奏を団員と一緒に楽しんでいただければと思います。ロッシェニの序曲はどこかで聴いたことのあるフレーズを、ラフマニノフの交響曲第3番は取り上げられることの少ない曲ですがそのロマンチックな旋律を、それぞれお楽しみいただくと幸いです。

今回の演奏会を行うに当たっては、この時期にもかかわらず指揮をお引き受けいただいたゴギさん、コンサートマスターの石井さん、トレーナーの先生方、エキストラの皆様、練習への参加をお許しいただいた団員のご家族、そして何より会場に足をお運びいただいた皆様方にこの場をお借りして御礼申し上げます。

最後にいつもお願いですが、演奏に対する忌憚のないご感想、また演奏会全体のご意見などWEBアンケートに書いていただくと団員の励みになります。

関西シティフィルハーモニー交響楽団 団長 柏岡 亨

## 関西シティフィルハーモニー交響楽団 | 第73回定期演奏会

2022年9月11日(日) 14:00 ザ・シンフォニーホール

指揮=ギオルギ・バブアゼ ヴァイオリン独奏=石井聡子

管弦楽=関西シティフィルハーモニー交響楽団

主催：関西シティフィルハーモニー交響楽団

ロッシェニ | 歌劇「ウィリアム・テル」序曲(約12分)

ブルッフ | ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 作品26 (約25分)

1. Allegro moderato
2. Adagio
3. Allegro energico

ラフマニノフ | 交響曲 第3番 イ短調 作品44(約45分)

1. Lento - Allegro moderato
2. Adagio ma non troppo - Allegro vivace
3. Allegro

ギオルギ・バブアゼ  
指揮

# George BABUADZE

1961年ジョージア(旧国名グルジア)トビリシ生まれ。トビリシ国立音楽院にてシウカシュヴィリ教授にヴァイオリンを、オディセイ・ディミアアディー氏に指揮を学ぶ。モスクワにてポロディン弦楽四重奏団のベルリンスキー氏に師事。1986年より5年間パトゥーミ市交響楽団の指揮を務める。1990年よりグルジア音楽協会室内管弦楽団の芸術監督および首席指揮者を務め、フランス、ドイツへ演奏旅行。その他、国内外におけるオーケストラのヴァイオリン奏者としてイタリア諸都市で演奏する傍ら、グルジア弦楽四重奏団のメンバーとしても活

躍。1996年より大阪シンフォニカー交響楽団(現大阪交響楽団)のコンサートマスター、2001年10月より関西フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターに就任。2002年4月より京都市立芸術大学ヴァイオリン専攻科非常勤講師も務める。ゲオルギア弦楽四重奏団メンバー。2005年、関西シティフィルハーモニー交響楽団常任指揮者に就任。また、音楽を通じて日本・ジョージア間の交流及び友好親善に寄与した功績が認められ、2019年秋の叙勲にて旭日単光章を受章。第54回大阪市民表彰(文化功労部門)受賞。

## 関西シティフィルハーモニー交響楽団 公演のご案内

### 第74回定期演奏会

2023年2月12日(日) 14時開演 ザ・シンフォニーホール

指揮：ヤニック・パジエ

- ▶ラヴェル：バレエ組曲「ダフニスとクロエ」第1組曲、第2組曲(合唱なし)
- ▶チャイコフスキー：交響曲第4番 ヘ短調 作品36

### 第17回ファミリーコンサート

2023年5月28日(日) 14時30分開演 池田市民文化会館 アゼリアホール

指揮：伊藤 翔

- ▶ドヴォルザーク：序曲「謝肉祭」 作品92
- ▶ビゼー：「カルメン」第1組曲 第2組曲
- ▶ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」 八短調 作品67

### 第75回定期演奏会

2023年9月17日(日) 14時開演 ザ・シンフォニーホール

指揮：ギオルギ・バブアゼ

- ▶ブラームス：ハイドンの主題による変奏曲 作品56a
- ▶R.シュトラウス：交響詩「ツアラトウストラはかく語りき」 作品30

## 関西シティフィル友の会

に入りますか?

入会金・会費無料

### 友の会に入ると

友の会演奏会の割引ご優待 演奏会ごとに事務局より友の会優先チケットのご案内をいたします。会員の方はお連れ様とともに通常価格2,000円のところを1,500円で購入していただけます(定期演奏会)。ファミリーコンサートでは別途、割引ご優待をご案内いたします。

友の会席のご用意 友の会優先チケットはお近くのローソンチケットにてお買い求めいただけます。ローソン店内の端末にて、優先チケットのご案内に記載しているLコードの入力をお願いします。会員席は、できるだけ良いお席をご用意いたします。

### 友の会に入るには

▶当団のホームページからご入会いただけます。また、本日のウェブアンケートからも友の会への入会手続きができます。右のQRコードからお進みください。郵送の場合は、連絡先を下記の住所までお送りください。

▶関西シティフィルハーモニー交響楽団友の会事務局  
〒570-0031 大阪府守口市橋波東之町2-8-5  
柏岡 享方 kcptomonokai@yahoo.co.jp



## 団員募集中

❖ コントラバス ❖ ファゴット

- 練習日時 毎週土曜日 18:30 ~ 21:30
- 練習場所 大阪市内の公民館等

お問い合わせは事務局まで[090-8378-2004]またはホームページへ  
なお、当団のホームページでも最新の団員募集情報を公開しております。

<https://www.kcspo.jp>



Kansai City  
Philharmonic Orchestra  
The 73rd Subscription Concert  
9.11.2022 at The Symphony Hall

分厚い牛ヒレ肉を焼き、その上にフォアグラを乗せ、上からスライスしたトリュフをトッピング…。この、いかにも美味しそうなフランス料理は“ロッシェーニ風”と呼ばれ、イタリアの作曲家ジョアキーノ・ロッシェーニが考案したといわれています。

そんな美食家ロッシェーニは、パリで美味しい料理を楽しんだり、ハンサムな顔立ちで数々の女性と浮名を流したり。ドラマティックでハッピーエンドなおペラ作品を次々と発表し、国王シャルル10世から「フランス国王の第一作曲家」の称号と終身年金を約束され、パリのイタリア座(オペラ専門の歌劇場)の音楽監督に就任…と、音楽家として大成功した人物です。

オペラ『ウィリアム・テル』は37歳の頃に作られた、彼の集大成といえる作品で、オペラのオープニングを飾る序曲は以下の4部構成となっています。

- ・アンダンテ
  - チェロ独奏から始まり、五重奏、そしてコントラバスが加わり、スイスの静かで美しい夜明けを表現

ブルッフ | ヴァイオリン協奏曲第1番 ㊦短調 作品26

マックス・ブルッフ(1838-1920 ドイツの作曲家)は、同世代のブラームスらと比較すると現在では演奏される曲は少ないですが、今回のヴァイオリン協奏曲第1番およびスコットランド幻想曲は代表的な作品と言えるでしょう。これらの作品は旋律が特に美しく、きらりと光るヴァイオリンの名曲です。ヴァイオリンを学習し始めた子どもから著名なヴァイオリニストまで世界中で演奏されています。

筆者の個人的な体験としては、1991年、当団がまだ関西OB交響楽団という名称だった頃、このザ・シンフォニーホールでの和波孝禧氏との共演が思い出されます。

この曲が人々を虜にしてやまない要因は、テクニックを前面に出した派手な音楽ではなく、ヴァイオリンの特質をいかした美しいメロディや、鮮やかなリズムがちりばめられているからでしょう。

第1楽章 Allegro moderato

ティンパニのトレモロの後、独奏ヴァイオリンの特徴的な旋律【譜例1】が始まります。G線開放弦の太い響きを生かした名旋律で聞き手を引き込みます。休みなく(アタッカ)第2楽章へつな갑니다。



第2楽章 Adagio

作曲者が力を入れた楽章で、一流の旋律美が存分に発揮されています。【譜例2】に始まる旋律が心に染み入ります。



第3楽章 Allegro energico

主題を予示するオーケストラの導入後、独奏ヴァイオリンの重音による熱狂的な主題【譜例3】が現れます。その後オーケストラに引き継がれ、雄大に展開します。



ヴァイオリン 橋本敏彦

ラフマニノフ | 交響曲第3番 ㊦短調 作品44

ラフマニノフといえば、交響曲第2番やピアノ協奏曲第2番のロマンチックなメロディが有名ですが、今回演奏する交響曲第3番は、それからおよそ30年たって作曲されたものです。この間に祖国のロシアでは革命が起こり、ソヴィエト政権が誕生。当時44歳であったラフマニノフは国を離れる決断をし、二度と戻ることはありませんでした。亡命後、アメリカや西欧でピアニストとして多忙な日々を送る一方、作曲への意欲は衰えてしましますが、そんな中でもいくつかの大曲を残しており、63歳の時に交響曲第3番を作曲します。

初めて聴く方は少し複雑で難しいと感じるかもしれませんが。実際に初演時の評判は大成功とは言えないもので、落胆するラフマニノフと話した新聞記者は「聴衆は、作品を聴いてから理解するのに時間がかかるものだ」と評したそうです。その通り、この作品には聴き返すたびに発見する魅力があり、色あせることはありません。遠い故郷を想う旋律、多彩なオーケストレーション、ラフマニノフ後期らしいかつこよさ、そんな魅力にあふれる名作であると思います。

第1楽章

ホルン、クラリネット、チェロ各1名による、哀愁をおびた4小節の序奏で始まります。ホルンはベルを右手で塞いで吹き(ゲシュトップ奏法)、チェロは高い音域を弱音器付きで弾くなど、珍しい組み合わせから生まれる音色が聴きどころです。この短い序奏のメロディはとても重要で、第3楽章までの曲全体

しています。時おりティンパニが不穏な雰囲気を見せます。

- ・アレグロ
  - 全楽器による強奏。つむじ風のようなうねりののち、下降と上昇を繰り返し、激しい嵐となります。
- ・アンダンテ
  - イングリッシュホルンとフルートの掛け合いによる、のどかな田舎を思わせる旋律。
- ・アレグロ ヴィヴァーチェ
  - スイス軍の行進とも呼ばれます。トランペットとホルンによるファンファーレのあと、馬のギャロップを思わせる軽やかなメロディは徐々に盛り上がりを見せ、一気にクライマックスへ。

さて、関西シティフィルのロッシェーニはどんな味わいでしょうか。どうぞお楽しみください♪ Bon appetit!

チェロ 山川正美

団員が選ぶ!

石井先生  
あの時こんな曲  
BEST 3

関西シティフィルの歩みとともに振り返ります

**第55回定期演奏会 (2013年9月)**

▶ **ベートーヴェン:交響曲第5番** 当団定期でのコンマスデビュー!ダダダダーン!

**第57回定期演奏会 (2014年10月)**

▶ **ショーソン:「詩曲」** 当団オーケストラをバックに、ヴァイオリンソロの名曲を熱演!石井先生のヴァイオリンの虜になった人も多いのではないでしょうか。

**第15回ファミリーコンサート(延期公演) (2021年12月)**

▶ **R.コルサコフ: 交響組曲「シェヘラザード」** 新型コロナの影響で2回の延期を経て、3度目の正直の開催でした。コンマスソロの超難曲として有名なシェヘラザード。甘く語りかけたり、勇ましく主張するヴァイオリンの音色は、千夜一夜物語そのものでした。

いいい・さとこ…幼少期より相愛子供のための音楽教室で学び、相愛高校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部を卒業、同大学研究科を修了。全日本学生音楽コンクール中学生の部入選。第13回ベストプレーヤーズコンクール優秀賞受賞(最高位)。第11回高槻音楽コンクール第2位。ブルガリア国立プレーヴェン交響楽団を始め、関西フィルハーモニー管弦楽団、ソフィア音楽祭にてソフィアフィルハーモニー交響楽団、ロシアサンクトペテルブルクバレエ&コングレレスオーケストラ、キエフ交響楽団等、国内外のオーケストラと多数競演。ニューヨークのカーネギーホールにてThe Music Center Japan主宰、日米合同コンサートに出演する他、多数セミナー、演奏会に招かれ出演し好評を博す。これまでに、鷲見健彰、曾我部千恵子、里谷千賀子の各氏に師事。現在、ソロ、室内楽、オーケストラのさまざまな分野で活躍する傍ら、後進の指導にも力を注ぐ。

今日は石井聡子先生の関西シティフィルコンサートマスターとしての最後の公演です。名曲、ブルッフのヴァイオリン協奏曲第1番をお楽しみください。

を通して、時には明らかに、時には隠されて繰り返し現れ、曲に統一感を与えます。序奏の静寂はフルオーケストラによる華やかな強奏で破られ、木管楽器とヴァイオリンによる民謡風の第1主題、チェロから始まる朗々とした第2主題、展開部、再現部、コーダを経て、冒頭の序奏のメロディで終わります。

第2楽章

第1楽章の序奏をホルンが少し変えた形で演奏し、ヴァイオリンソロが郷愁を誘うメロディを奏でた後、音楽は徐々に高揚し、中間部のスケルツォに突入します。きらびやかに盛り上がった後は静けさを取り戻し、望郷のメロディが再び現れ、静かに余韻を残して終わります。

第3楽章

余韻を破るかのように賑やかに始まり、弦楽器が生き生きと第1主題を奏でます。続いてノスタルジックな第2主題が演奏され、フーガを含む展開部へと進みます。ラフマニノフお気に入りのグレゴリオ聖歌「怒りの日」のモチーフも登場し、簡潔な再現部を経てコーダに入り、最後は第1楽章の序奏の音型の再現で力強く締めくくられます。

ヴァイオリン 吉澤 悠

出典:「ラフマニノフ 生涯、作品、録音」マックス・ハリソン著 森松皓子訳 他

# Kansai City Philharmonic Orchestra

関西シティフィルハーモニー交響楽団 (社)日本アマチュアオーケストラ連盟加盟団体

1974年に、各大学オーケストラの卒業生を主たるメンバーとして、関西OB交響楽団の名称で結成。1994年、創団20周年を機に現在の団名に改称。“アマチュア精神に基づく、グレードの高い社会人オーケストラ”をモットーに、年2回の定期演奏会をはじめファミリーコンサート等を意欲的に開催しています。近年は指導体制の充実に力点を置き、有能なプロの先生方を指揮者や指導スタッフに招聘して研鑽を積んで参りました。中でも、1998年より4年間、ズラタン・スルジッチ氏(元ドブプロヴニク交響楽団首席指揮者)を常任指揮者に招聘し、その指導を仰いだことにより「音楽的に大きな飛躍を遂げた」との評価を内外から得ております。加えて、2006年の第41回定期演奏会より、ギオルギ・バプアゼ氏を常任指揮者として迎えたことにより、氏の卓越したバイオリン奏者(関西フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター)としての薫陶を得て、弦楽器の響きが格段に美しくなったと自負しております。また、組織としても「若い力」を積極的に運営面に活かし、“常に成長するオーケストラ”を目指して努力を重ねております。毎週土曜日の夜、指揮者やトレーナーの先生方の指導のもと、真剣な練習を行っており、現在団員数は、約100名を有します。

常任指揮者 ギオルギ・バプアゼ  
コンサートマスター 石井聡子 / 小野寺慶太

- **Violin**  
青山 拓生  
大原 優奈  
岡川 雅樹  
小野寺 拓太  
加藤 孝司  
加藤 裕紀子  
鎌田 美和子  
神田 靖子  
北村 下次  
國土 愛珠  
後藤 元妃  
坂元 由代  
佐藤 向子  
清水 太司  
清城 丸花  
高竹 丸泰  
竹邊 由梨  
田中 万里  
豊島 季子  
中島 直雄  
中谷 茂雄  
布谷 波千  
橋本 敏彦  
樋口 貴雄  
○平藤 原大  
八木 真地  
山本 真弓  
吉澤 悠
- **Viola**  
井戸 眞智子  
井戸 義訓  
川端 彬成  
高斉 勲  
○嶋田 晴佳  
土屋 法子  
永井 裕明  
井田 詩穂  
蒔田 祐太  
横井 茉里  
吉井 知未  
岡崎 鈴代  
藤崎 奈美
- **Flute**  
阿部 葉子  
○小波津 佐知代  
芝野 均恵  
山田 萌恵
- **Oboe**  
小川 美祐  
奥田 奈央  
○加藤 緑里  
古川 麻耶
- **Clarinet**  
姜 隆志  
後藤 真紀  
齊藤 紀子  
○芝野 美範
- **Violoncello**  
○安彦 郁  
阿保 英造  
岩田 倫和  
上田 真紀子  
小野寺 泰子  
樋越 野綾  
野島 ちひろ  
豊島 正誠  
富樫 恵子  
廣瀬 川正  
山正美
- **Contrabass**  
○稲葉 杏子  
大崎 典子  
松崎 彩乃  
宮脇 利行  
矢野 恵  
吉田 有音
- **Horn**  
○安彦 高志  
神田 麻衣  
西山 順子  
廣橋 麻理子  
細川 美咲
- **Trumpet**  
残熊 祐治  
田辺 和樹  
三原 友里子  
○山田 浩之
- **Trombone**  
○柏岡 亨  
高島 潤作  
西川 侑作
- **Tuba**  
古口 賢一
- **Percussion**  
○田村 千春  
檜崎 将広  
小池 美郷  
田畑 美貴  
藤井 仁貴  
村本 心平  
森田 貴史
- **Harp**  
鈴木 貴子
- **Celesta**  
井頭 幸子

○…パートリーダー

- 今回ご指導いただいた先生方  
およびトレーナー  
池田 重一(ホルン)  
岩井 秀樹(ヴィオラ)  
ギオルギ・バプアゼ(指揮・ヴァイオリン)  
高 昌帥(指揮)  
白水 大介(トランペット・指揮)  
白谷 隆(指揮)  
田本 摂理(クラリネット)  
橋本 安弘(ヴァイオリン)  
林口 眞也(チェロ・指揮)  
藤崎 奈美(指揮)  
星野 則雄(ファゴット)  
三好 哲郎(コントラバス)  
森 和幸(指揮) (※五十音順)
- 団長  
柏岡 亨
- 運営委員長  
富樫 誠
- チーフパートリーダー  
安彦 郁
- インスペクター  
樋野 綾子  
芝野 範子  
古口 賢一
- 総務  
青山 拓生  
安彦 高志  
阿保 英造  
檜崎 将広
- 広報  
橋本 敏彦(兼総務)  
平田 瑛子
- 会計  
岡 雅樹
- 人事・IT  
岩田 倫和
- ライブラリアン  
中島 茂雄
- 楽器  
田村 千春
- 友の会  
坂元 由紀
- 会計監査  
田村 千春